

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分
 【発行日】平成 18 年 4 月 13 日 (2006.4.13)

【公開番号】特開 2000-330926 (P2000-330926A)
 【公開日】平成 12 年 11 月 30 日 (2000.11.30)
 【出願番号】特願 平 11-135632
 【国際特許分類】

G 0 6 F 13/14 (2006.01)

G 0 6 F 13/38 (2006.01)

【 F I 】

G 0 6 F 13/14 3 3 0 B

G 0 6 F 13/38 3 5 0

【手続補正書】
 【提出日】平成 18 年 2 月 24 日 (2006.2.24)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 1 1
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 1 1】

(4) U S B ハブは、電源回路の違いによってその設定を変える必要があるが、実際には、外部電源の有無等でその設定が変わっていない。

そのため、たとえば外部電源を使用して、いわゆる自己電源（セルフパワー）デバイスがあるとパーソナルコンピュータに認識させておいてから、途中で外部電源を外した場合、パーソナルコンピュータは外部電源がなくなったことに気付かずバスから電力を供給してしまう。

その結果、電源系に故障を引き起こす可能性がある。

【手続補正 2】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 2 5
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 2 5】

U S B ハブ 1 2 1 は、たとえばパーソナルコンピュータ 1 1 と接続されるアップストリームポート U P 1、および 5 つのダウンストリームポート D N 1 ~ D N 5 を有しており、図 1 の場合、ダウンストリームポート D N 1 に組み込み機能 1 2 2 が接続されている。

また、残りのダウンストリームポート D N 2 ~ D N 5 は、U S B ケーブル C B L 3 ~ C B L 6 により図示しないプリンタ等の U S B デバイスに接続可能である。

【手続補正 3】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】図 1
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【図 1】

